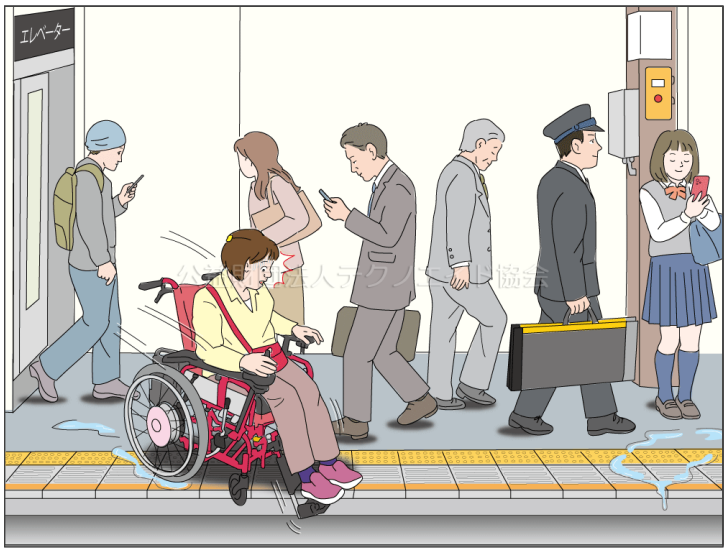
福祉用具ヒヤリハット　研修教材（講師用）

Case：429
駅のホームを走行中、操作を誤って転落しそうになる

場面の説明

駅のホームで駅職員の誘導を受けながら乗車位置に向かう途中、人混みを避けようとして操作を誤り、転落しそうになる



利用シーン	移動 外出
主な利用場所	段差・縁石 その他
介護保険の種目	車いす
分類コード (CCTA95)	122127 (電動車いす)
介護テクノロジー	ー
二次元バーコード	

解説

駅のホームは雨水を排水するための傾斜や混雑により、操作ミスが起こりやすい環境です。安全な走行のためには、速度を低速に設定し線路側を避ける必要があります。状況によっては手動操作に切り替え、介助を受けることも考慮しましょう。混雑や視界不良が予想される場合は、事前に誘導方法を確認するなど駅側との連携を図ることが重要です。

参考要因（要因の例であり、これだけが正解ということではありません）

人：脳機能の障害により線路側の認識ができなかった
人：誘導する駅職員の歩く速さに合わせようとムリな速度で操作した
モノ：走行音が静かで気づきにくい車いすだった
環境：ホームが狭く、端部が認識しづらかった
環境：周囲の人が進路を開けるなどの理解や協力がなかった
環境：混雑する時間帯であった
管理：駅職員に誘導についての注意情報が不十分だった

作成：公益財団法人テクノエイド協会
Copyright 2026 Association for Technical Aids, Inc. All Rights reserved.